



『おつきさまこんばんは』
林明子 さく
福音館書店

夜空におつきさまが輝いて明るくなったり、雲が来て暗くなったり、そのたびにおつきさまの表情が変わります。最後は雲も晴れて、おつきさまはにっこり笑顔。短いながら、起承転結のあるお話です。子供はおつきさまの表情を読み取って、いっしょに悲しんだり、喜んだりします。おもしろいことに、この絵本を読んだ後、おつきさまを見ると「こんばんは」と呼びかけるようになる子供がたくさんいるそうです。

➔ おつきさまの本

『おやすみなさいおつきさま』

(マーガレット・ワイズ・ブラウン さく

クレメント・ハード え せたていじ やく 評論社)
